

公益社団法人山梨科学アカデミー創立30周年 山梨県総合理工学研究機構創立20周年 記念式典

日時 ▶ 令和7年5月30日（金）午後2時40分～

会場 ▶ ベルクラシック甲府（甲府市丸の内1-1-17）

記念式典

午後2時40分～午後5時10分

- ①山梨科学アカデミー 特別功績賞表彰
- ②山梨科学アカデミー 30周年特別功労賞表彰
- ③山梨科学アカデミー 活動の軌跡
- ④山梨県総合理工学研究機構(Y-CROST) 活動の軌跡
- ⑤Y-CROSTと県内試験研究機関による研究成果発表
- ⑥山梨科学アカデミー児童・生徒科学賞 過去の受賞者による講演

大村 智 博士 特別記念講演

午後5時20分～午後6時20分

演題 ▶ 「私の研究－艱難辛苦を乗り越えて－」

座長：国立大学法人山梨大学 学長 中村 和彦 氏

祝賀会

午後6時30分～午後8時00分

◆申込方法 申込みフォーム(<https://forms.office.com/r/sXtZ51xRZS>)、
または下記申込書にご記入の上、FAXで送信、もしくは電話でお申し込み
ください。

当日受付も行いますので、直接会場にお越しいただいても構いません。

◆会費 3,000円

◆申込先 公益社団法人山梨科学アカデミー事務局（山梨県庁 まなび支援課内）
FAX：055-223-1516 電話：055-223-1312



申込みフォーム

【参加申込書】

会社名 所属名称等		電話番号		
参加者氏名	職名	記念式典	特別記念講演	祝賀会 (会費3,000円)

↑ 参加ご希望の箇所に○印をご記入ください。

山梨科学アカデミー名誉会長 大村智 博士 特別記念講演

演題

「私の研究－艱難辛苦を乗り越えて－」

■講演内容

山梨大学卒業後、5年間夜間高校の教員を務めながら、有機化学の研鑽を重ねた後、研究者への道を歩むことにした。

北里研究所の研究者になり、研究室を持つことができたが、これからという時に研究室の閉鎖を命ぜられた。やむを得ず、独立採算を目指して研究資金を稼ぎながら研究者の育成を図り、研究室を維持して研究を続けた。やがて、副所長を命ぜられ、またしても苦難を伴う任務を果たしながらも、多くの研究者と共同研究を進めた。

この間、悪性リンパ腫を患うなど、幾多の病を克服しながら研究を続け、有用なスタウロスポリン、ラクタシスチン、およびエバーメクチンなどの微生物代謝産物を世に送り出すなどの成果を挙げることができた。

これらは子供の頃の農業の手伝いや高校生・大学生時代のスキーマの長距離競技で鍛えた“百折不撓”の精神力に助けられたと思っている。



■大村智 博士 略歴

1935年山梨県韮崎市生まれ

北里大学特別栄誉教授、日本学士院会員、米国Wesleyan大学名誉教授、(学)女子美術大学名誉理事長

微生物の生産する有用な新規天然有機化合物の発見を目指して独創的な研究を推進し、520種類余の新しい化合物を発見。その内、26種が医薬、動物薬、生化学研究用試薬、農薬として広く使われ、感染症の治療・撲滅、生命現象の解明、食糧の増産などに貢献している。特に抗寄生虫薬イベルメクチンは熱帯病のオンコセルカ症およびリンパ系フィラリア症の他、糞線虫症、疥癬の予防・治療薬などとして年間7億人余に使われている。

2015年に文化勲章を受章し、同年ノーベル生理学・医学賞を受賞。郷里の山梨県韮崎市に韮崎大村美術館を建設し、収集した4,000点余の絵画、陶器及び彫刻等と共に市に寄贈した。

公益社団法人 山梨科学アカデミーについて

山梨科学アカデミーは、山梨県の科学や技術の発展に寄与することを目的に、科学に理解を有する本県ゆかりの研究者や事業者などにより平成7年5月に発足し、翌平成8年4月に山梨県知事より社団法人の認可を受け、平成24年4月には公益社団法人に移行しました。

以後、科学の普及啓発を目的としたイベントや講演会、研究者間の交流促進を目的とした情報交換会、人材育成のための教育(県内の小学校、中学校、高校への訪問セミナーなど)や顕彰などの事業を行っております。

事業内容

- (1)科学の振興に関する各種集会の開催(交流大会の開催、科学関連行事への支援等)
- (2)科学に関する情報の提供(会報の発行)
- (3)科学を担う人材の育成及び顕彰(山梨科学アカデミー賞・奨励賞の顕彰等)
- (4)科学に関する知識の啓発(「未来の科学者訪問セミナー」の実施等)